

## 平成19年度 第1回理事会

日 時 平成19年4月20日（金）13：30～

場 所 特別会議室

### 議 題

- 1 統合後の森林総合研究所の主要会議
- 2 平成19年度の会計監査人の選出について
- 3 平成19年度研究コーディネータ（COD）の業務分担
- 4 「花粉症発生源対策プロジェクトチーム」の設置について（報告）
- 5 その他

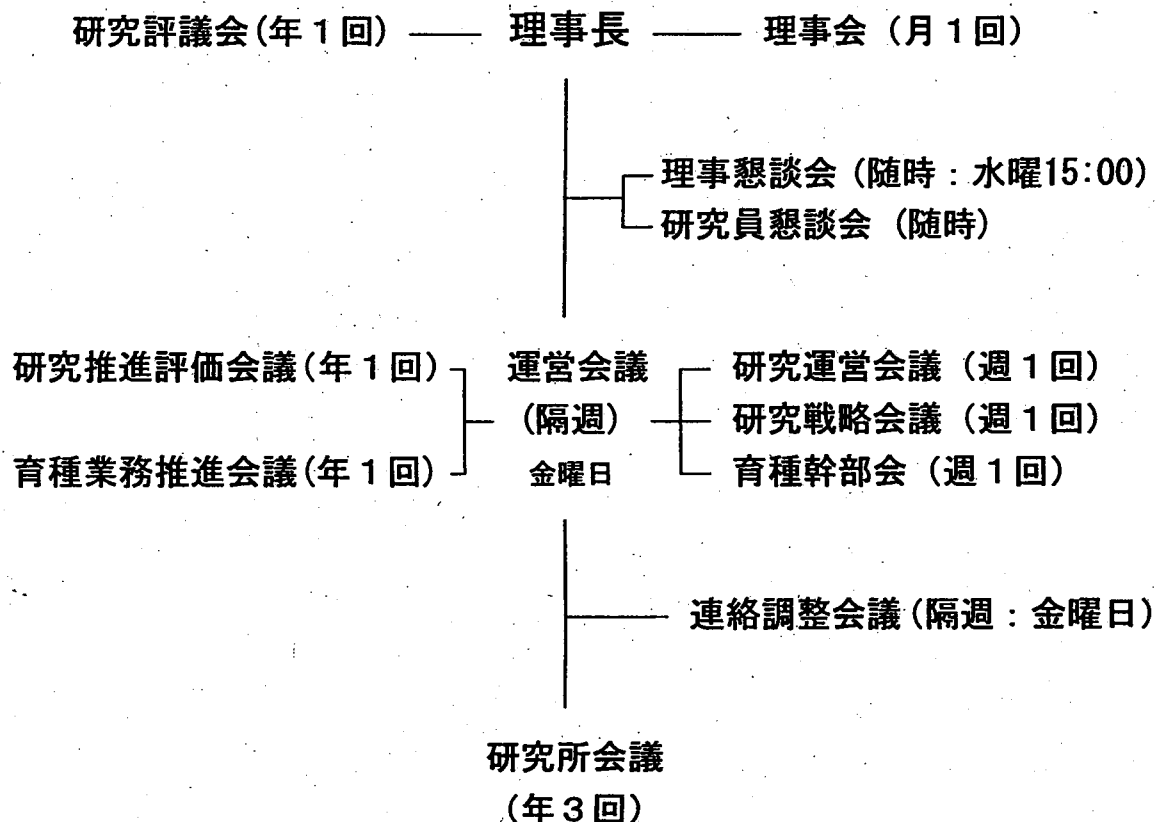
### 資 料

- 1 統合後の森林総合研究所の主要会議
- 2 平成19年度の会計監査人の選出について
- 3 平成19年度研究コーディネータ（COD）の業務分担
- 4 「花粉症発生源対策プロジェクトチーム」の設置について
- 5 平成19年度科学研究費補助金等採択状況について
- 6 主要行事（4月1日～4月20日）

平成19年4月20日

理事長

## 統合後の主要会議



理事懇談会メンバー：理事長、理事のみ

総括審議役、企画部長、総務部長、審議役(育種担当)は  
オブザーバーで参加(事務局：総括審議役)研究員懇談会：理事長主催の若手研究職員との意見交換会、昼食会(日程調整等：企画  
部長)

研究運営会議：企画総務担当理事担当

研究戦略会議：研究担当理事担当

育種幹部会：育種・森林バイオ担当理事担当

運営会議：総括審議役担当

## 統 合 後 の 主 要 会 議 (案)

	全 体 (理事長案)		
今後の名称(案)	理事会	運営会議	研究所会議
(従来の名称)	(理事会、役員会)		(全所運営会議、業務運営会議)
審議事項	法人の運営に関する重要事項	情報交換、共通認識化	法人の運営に関する事項、理事長指示事項、その他運営に関する事項等
構成員 主催者	理事長、理事、監事、総括審議役、企画部長、総務部長、審議役(育種)	理事長、理事、総括審議役、企画部長、研究企画科長、総務部長、総務課長、審議役(育種)、育種部長、育種企画課長 総合調整室長	理事長、理事、総括審議役、監査室長、総合調整室長、企画部長、研究コーディネータ、企画部科課長、領域長・拠点長、総務部長、総務部課室長、審議役(育種)、育種部長、遺伝資源部長、海外協力部長、育種部・遺伝資源部・海外協力部課長、森林バイオ研究センター長、支所長・園長、育種場長
事務局	総括審議役	総合調整室	総合調整室 (企画部・総務部と連携)
回数	月1回	隔週	年3回

### 会議毎の重点審議事項(案)

	理事会	運営会議	研究所会議
法令事項	◎	◎	○
法人基本事項	◎	◎	○
部門別(研究、育種事業)事項		○	◎
事業所別事項		○	◎
総合科学技術会議関係		●	○
農林水産技術会議関係		●	○
林野庁関係		●	○
競争的資金関係		○	○

◎: 主たる会議    ○: 従たる会議    ●: 内容に応じて各部門に振り分けを行う

理 事 会 資 料  
平成19年4月20日  
監 査 室

### 平成19年度の会計監査人の選任について

平成19年度の会計監査人の選任について、「独立行政法人通則法」第39条の規定により、当法人は会計監査人の監査を受けなければならないこととなっている。また、第40条の規定により、会計監査人は主務大臣（農林水産大臣）が選任することが定められている。

その際、「中央省庁等改革の推進に関する方針」Ⅲ－18－(2)により、当該法人の長は監事の同意を得た上で候補者の名簿を提出しその選任を求めることとされている。このことから、下記のとおり提案したい。

#### 記

##### (候補者名)

新日本監査法人

##### (候補者とした理由)

新日本監査法人は、平成18事業年度において、当法人の会計監査人として選任され、その業務に携わってきたところであるが、監査契約における監査業務の履行に当たっては、適切な監査チームの編成により、誠実かつ確実に実施されているところである。

さらに、新日本監査法人から提案されている提案書を検討したところ、独立行政法人の制度・会計に精通し、かつ平成18事業年度に当法人の監査業務に従事経験のある公認会計士を中心に配置を予定するなど、その監査業務と支援業務等が効率的かつ円滑に実施されると判断され、適切な対応が期待できる。

よって、同監査法人を会計監査人の候補として選任し、引き続き効率的かつ適正な会計処理に万全を期することとする。

##### (今後の予定)

理事会で確認（了承）された後、文書決裁し、農林水産大臣への選任請求を林野庁経由で行いたい。

## 平成19年度研究コーディネータ(COD)の業務分担

組織規程による担当	氏 名	担当重点課題等	特命事項
一 温暖化影響研究	石塚森吉	アアa 森林への温暖化影響予測と二酸化炭素吸収源の評価・活用技術の開発 (2) 研究の基盤となる情報の収集と整備の推進	研究報告編集委員会 責任者 地域研究(森林・林業) 関東・中部対応
二 木質バイオマス利用研究	山本幸一	アアb 木質バイオマスの変換・利用技術と地域利用システムの開発 イアb 木質系資源の機能と特性の解明	産学官連携 知財戦略
三 生物多様性・森林被害研究	福山研二	アイa 生物多様性保全と野生生物等被害対策に向けた技術の開発 イイb 森林生態系における生物群集の動態の解明	広 報
四 国土保全・水資源研究	加藤正樹	アイb 国土保全機能の評価及び災害の予測・被害軽減対策技術の開発 イイa 森林生態系における物質動態の解明	研究課題評価 環境報告
五 木質資源利用研究	神谷文夫	アイd 安全で快適な住環境の創出に向けた木質資源利用技術の開発 アウb 消費動向に対応したスギ材等林産物の高度利用技術の開発	地域研究(木材産業) 関東・中部対応
六 林業生産技術研究	加藤 隆	アウa 林業の活力向上に向けた新たな生産技術の開発 アイc 森林の保健・レクリエーション機能等の活用技術の開発	総 括
七 生物機能研究	中島 清	イアa 森林生物の生命現象の解明	育種調整 人材育成
八 国際研究	沢田治雄	アアa 森林への温暖化影響予測と二酸化炭素吸収源の評価・活用技術の開発	国際連携・協力

アアaの重点課題は温暖化影響研究担当研究コーディネータが主とし、国際研究担当研究コーディネータが副とする。

## プレスリリース

平成 19 年 4 月 6 日  
林 野 庁

## 「花粉発生源対策プロジェクトチーム」の設置について

農林水産省としては、社会問題化している花粉症問題について、関係省庁と連携の上、これまでも花粉発生源対策に取り組んできたところ です。

しかしながら、スギ花粉症が国民的な広がりを見せる中で、国民の皆様からの花粉発生源対策の充実・強化への要請はますます高まっており、抜本的な花粉発生源対策が求められているところです。

このため、本日、林野庁に「花粉発生源対策プロジェクトチーム」を設置します。

## 1 組織

林野庁内に「花粉発生源対策プロジェクトチーム」を設置。

本 部 長 森林整備部長

事務局主査 計画課 首席森林計画官

事務局員 計画、整備、研究・保全、業務の各課長  
関係課の担当官

(独) 森林総合研究所の研究者

## 2 検討事項

- (1) 国民的要請を踏まえた現行対策の現状と評価
- (2) 国民的要請に応えるための抜本的対策のあり方
- (3) これらを踏まえた 19 年度の対応策及び 20 年度予算概算要求等

## 3 当面のスケジュール

- ・ 19 年度における対応に間に合わせるべく 5 ～ 6 月を目途に一定の整理。
- ・ 20 年度予算概算要求までに対策の取りまとめ。

## 問い合わせ先

林野庁 森林整備部 研究・保全課  
担 当 津田、山口、湊

代表：03-3502-8111 (内線 6338, 6349)

直通：03-3501-3843

当資料のホームページ掲載先 URL

<http://www.maff.go.jp/www/press/press.html>

## 平成19年度科学研究費補助金採択課題について

研究戦略会議事務局

## 平成19年度科学研究費補助金種目別採択率

種目	応募総数	採択数	採択率%
基盤A	5	1	20
基盤A海外	6	1	16.6
基盤B	32	6	18.8
基盤B海外	8	1	12.5
基盤C	34	6	17.6
萌芽	18	5	27.8
若手A	5	0	0
若手B	33	8	24.2
合計	141	28	19.9

## 主要行事 (2007年4月1日～4月20日)

月 日	行 事 内 容	出席者
4月3日(火)	庁議	理事長
5日(木)	筑波研究学園都市記者会懇談会(観桜会)	理事長、理事
6日(金)	林野庁針原森林整備部長視察 ○遺伝子組み換えに関する研究状況 ○木質バイオエタノールに関する研究状況	理事長、理事、総括審議役
15日(日)	科学技術振興調整費ヒアリング	理事長
16日(月) ～17日(火)	林木育種センター出張	理事長、理事、総括審議役
19日(木)	森林管理局長等会議	理事長
20日(金)	研究独法バイオ燃料研究推進協議会設立総会	理事長